

南三陸 汐風便り

第9号(通巻第90号)



発行日：令和5年1月5日
発行：一般社団法人 復興みなさん会
〒986-0751
宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮社務所内 minasan.msrk@gmail.com



復興公営住宅で 活動する町民団体紹介

第3回 西が丘ほっこり倶楽部 町営志津川西復興住宅

コロナ禍に負けず、入居者どうしの交流・助け合い活動を続けている町民団体の活動を紹介します。

第3回は志津川西(の東)復興住宅で活動されている「西が丘ほっこり倶楽部」会長の佐藤さえ子さんと復興住宅自治会長(兼・行政区副区長)の阿部吉夫さんにお話を伺いました。(取材日：令和4年6月9日)



インタビュー
の様子
(左 佐藤さん
中 阿部さん)

<設立～コロナ前の活動について>

佐藤 メンバーは女性が十数名と男性も4名入っています。役員は会長と会計がいます。予算は月100円の会費を集めてそれで運営していました。

朝のラジオ体操を火曜日から金曜日までして、終わったらお茶っこするのが定番でした。お茶にひとつだけお菓子がつくんですけど、それで話が出来て良かったですね。月曜日は百歳体操の日でした。外部からの支援も多かったです。

阿部 会の活動は地域のモデルになるくらい活発でした。集会所前にトマトを植えたりもしましたがカラスに突つかれてしまったので、今は「園芸くらぶさん」で花を植えています。他にも、カラオケ倶楽部などいろんな倶楽部があります。自治会の役員は発足当時から同じメンバーです。町に応援に来てくれたボランティアさんの働きを見て「素晴らしい私も何かやらないとなあ」と思いました。

佐藤 あと、柿むきをして干し柿を作ったこともありましたが、1週間を通していつもなにかしていました。自治会としても、年に2回は建物周辺のお掃除をして、お茶を出したりもしました。みんな集まってきて、コミュニケーションがとれていました。

<コロナ後の活動～今後に向けて>

阿部 基本的には外でのラジオ体操だけになっています。その後はそそっと帰る人が多いです。声をかけてみるんだけど、みんなちょっと立ち話して帰ってしまう。町の中では、たくさん集まっている場所があるのに、どうして公営住宅には制限がかかったままだと言いたい。お茶っこは大事なんだけどなあ。

佐藤 活動が止まっているので、会費の残余でお弁当を買って、会計残高もゼロにしました。今年が最終となった赤い羽根の助成金を活用して、それで花植えをしようかと思っています。

ここ数年でメンバーの活力がガタッと落ちた感じがします。家庭環境も変わっているし。活動に新しいメンバーを入れたいけど、でも実際入ってもらうのは至難の業です。途中からはなかなか入りづらいのでしょうか。

阿部 メンバーにこちらから呼びかけないと何も起きない。これからは、新しい発想が必要です。若い人になって欲しい気持ちもあります、正直な話。前は、モアイバスで大島に行ったこともありました。近くの復興の様子も見えていない人もいるし、またバスに乗って何処かに行きたいですね。



無事に再開できた
花植えの様子

